

お客様各位

ネットアイキュー株式会社

Reflection for Secure IT UNIX 8.0 SP2 リリースのお知らせ

この度 Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX 8.0 SP2 を 国内リリースする運びとなりました。
以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- 1) Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX サーバ 8.0 SP2
- 2) Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX クライアント 8.0 SP2

[注]：RSIT 製品間の最新バージョンが相違しますが、相互接続性は問題ありません。

2. 8.0 SP1 からの主な変更内容

2.1 追加項目

[A] サーバ/クライアント 共通

- 1) 新プラットフォーム環境への対応
 - a) Red Hat Enterprise Linux 7 (x86-64) と Oracle Solaris 11 (x86-64) に対応
 - b) Red Hat Enterprise Linux 6, 7 にて SELinux(Security-Enhanced Linux) に対応
 - c) Red Hat Enterprise Linux 7 にて HA クラスタ(High Availability Clustering) に対応

2.2 不具合対策内容

[A] サーバ機能

- 1) Solaris にて、クライアントからの不正切断手順の影響を受け コアダンプが発生する問題
- 2) AIX にて、"AccountManagement=aix"指定時に"IgnoreRLogin=yes"指定が正しく機能しない問題

[B] クライアント機能

- 3) SFTP "lls"コマンドにて、シングルクォーテーションで囲んだファイル名を認識しない問題

2.3 変更事項

- 1) 下記プラットフォーム対応のバイナリが 64bit アプリケーションとなり、64bit システムライブラリを必要とするようになりました。

① IBM AIX (POWER) ② Oracle Solaris 10 (SPARC) ③ Oracle Solaris 11 (SPARC)

例えば AIX "pam.conf"において SSH に対する PAM ライブラリ指定は 64-bit PAM ライブラリをフルパス指定する必要があります。

[例]：
ssh auth required /usr/lib/security/64/pam_aix
ssh account required /usr/lib/security/64/pam_aix
ssh password required /usr/lib/security/64/pam_aix
ssh session required /usr/lib/security/64/pam_aix

- 2) IBM AIX 5.3 (POWER)と Oracle Solaris 9 (SPARC)を 対応プラットフォームから除外しました。

- 3) 暗号化ライブラリとして FIPS 140-2 Level 1 認証#1747 の"OpenSSL FIPS Object Module v2.0.2"を採用しました。

(*) AIX (POWER) は FIPS 140-2 Level 1 認証#2398 の"OpenSSL FIPS Object Module SE v2.0.11"を採用

- 4) HP-UX 11i v2 (PA-RISC)と SUSE Linux Enterprise Server 10 (zSeries 64) が FIPS モードに未対応となりました。

- R01** 5) 暗号化ライブラリの脆弱性対策(CVE-2016-0705)の影響を受け、DSA 2048 鍵ファイル(1024 bit 長を超える DSA 鍵ファイル) が、基本使用出来なくなりました。

詳細は FAQ No.8269「RSIT UNIX 製品における DSA 2048 鍵ファイル使用不可問題について」参照。

3. 対応プラットフォーム

- a) IBM AIX 7.1, 6.1 (POWER)
- b) HP-UX 11i v3 (Itanium)
HP-UX 11i v2 (Itanium, PA-RISC)
- c) Red Hat Enterprise Linux 7 (x86-64)
Red Hat Enterprise Linux 6, 5 (x86, x86-64)
- d) SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86, x86-64)
SUSE Linux Enterprise Server 10 (x86, x86-64, zSeries 64)
- e) Oracle Solaris 11 (SPARC, x86-64)
Oracle Solaris 10 (SPARC, x86, x86-64)

4. 入手方法

[A] ボリュームライセンス(VPA)保守契約のお客様：

- ・弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし該当製品を入手します。

<手順>

- 1) 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにアクセス
 - i) 直接 URL (<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>) を入力 あるいは、
 - ii) Attachmate 日本語ホームページ (<http://www.attachmate.jp/>) から
> [サポート] > [ダウンロードライブラリ] とブラウザ
- 2) 表示「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページにおいて、
お手元控えの"ユーザ名"、"パスワード"を入力しログイン
- 3) 表示「保守の内容」ページ内において、本製品の"ダウンロード"をクリック
- 4) 「Reflection for Secure IT UNIX Server」又は「Reflection for Secure IT UNIX Client」
一覧において 対象"ファイル名"をクリック：
～ "Current Product Release"一覧表に今回バージョン 8.0+SP2(8.0.2.109)を表示。
説明欄に示す対象プラットフォームの"ファイル名"をクリックし、次ページに進みます。
- 5) 「ファイル情報とダウンロード」ページにてダウンロード操作：
～ 下部枠内 "輸出規制を含むソフトウェアライセンス使用許諾契約に合意します"をチェックし、
"ダウンロード:(ファイル名)"をクリックしダウンロードを開始します。

[B] シングルパッケージ購入のお客様：

- ・本リリース発表後の出荷より、最新バージョン 8.0 SP2 の CD が添付出荷されます。
それ以前のバージョンをご使用で、バージョン 8.0 SP2 へのアップグレードをご希望のお客様は、
下記お問合せ先までご連絡下さい。 有償にてバージョンアップを承ります。

5. 日本語マニュアルについて

- ・『Reflection for Secure IT Client and Server UNIX 8.0 SP1 ユーザガイド』を引き続きご利用下さい。

<入手先>：

弊社テクニカルサポート FAQ No.7388：『RSIT UNIX 8.0 SP1 の日本語ドキュメント』

<<http://attachmate.okweb3.jp/EokpControl?&tid=55681&event=FE0006>>

6. お問合せ先

ネットアイキュー株式会社

Tel: 03-5206-9500(代表)

Email: j-info@microfocus.com

以上